

青森県産品の流通拡大を目指した新たな輸送サービス 青森県総合輸送プラットフォーム



県では、青森県産農林水産品の流通拡大を物流面で支援することを目的に、新たな輸送インフラとなる「青森県総合輸送プラットフォーム[※]」の構築に向け、ヤマト運輸株式会社と連携協定を締結しました（平成26年7月24日）。



※プラットフォーム：荷物を扱う仕組み。

◎プラットフォームで広がるビジネスチャンス

本県には季節ごとに旬を迎える農林水産品が多くあります。特に生鮮品は鮮度が命です。

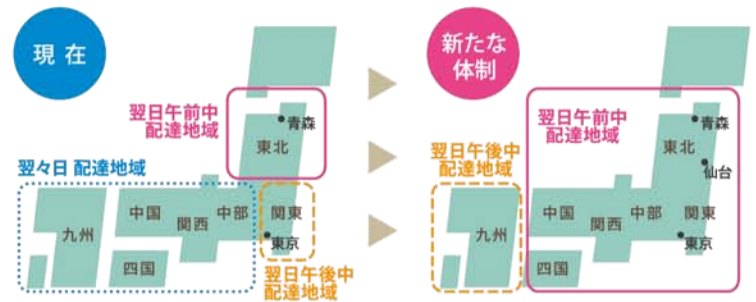
県では、ヤマト運輸株式会社と連携して、時間短縮と保冷（冷蔵・冷凍）輸送を実現し、本県農林水産品の流通拡大、競争力強化につなげていきたいと考えています。

◎国内翌日午前配送エリアを西日本へ大幅拡大

青森県は、首都圏や関西圏といった大消費地から遠く、翌日午前に配送可能なエリアは、東北に限られていました。

今回構築する予定のプラットフォームでは、輸送の工夫とスピードアップにより、翌日午前に配送可能なエリアを、首都圏や西日本（本州全域と四国）まで広げ、人口カバー率は7.5%から84.7%へ、大幅に拡大させることを目指しています。

《県とヤマト運輸の協定による変化》



人口カバー率 **7.5% → 84.7%** に大幅拡大

◎東南アジアにも最短翌日配送を実現

プラットフォームの輸送サービスでは、沖縄国際物流ハブネットワーク（ANA）を活用し、台湾、シンガポール、香港などの東南アジアへの翌日配送も実現する予定です。

また、これまで輸出に踏み切れなかった企業や生産者に対して、輸出の手続き、書類作成の支援なども段階的に行っていく予定です。

※本輸送サービスは、県で一定の手続きを経た企業・生産者等の共同利用による専用輸送を想定しており、個人など一般利用は対象となりませんのでご了承ください。輸送サービスの開始時期などは、今後県庁HPでお知らせする予定です。

港湾空港課 ☎017-734-9676

防災公共推進計画のご紹介

～人命を守ることを最優先に～



防災公共とは

災害時に、人命を守ることを最優先に「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した防災対策と危機管理体制の強化などの取組を「防災公共」と提唱しています。 ※「防災公共」は青森県独自の取組名です。

防災公共推進計画とは

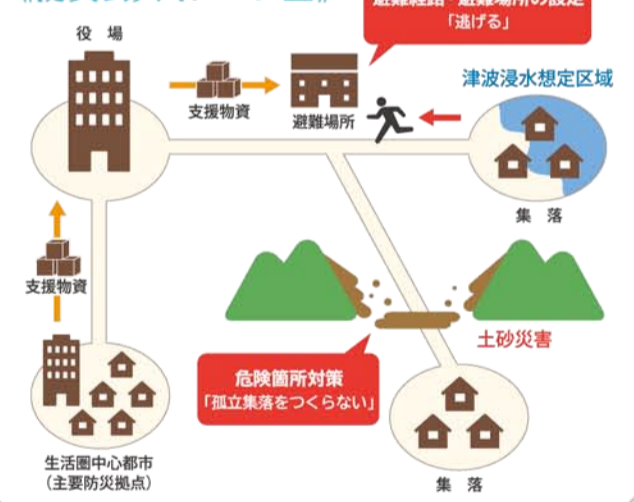
防災公共の理念に基づく防災対策を進めるため、平成24年度から県・市町村が協力してワーキングを開催し、最適な避難経路と避難場所を位置づけ、地域の実情にあった避難計画を具体化するために必要な危険箇所対策を全市町村ごとにまとめ、県庁ホームページに掲載しています。防災公共推進計画では地震や大雨で孤立する恐れのある集落が145集落ありました。

今後の取組

防災公共推進計画により把握した最適な避難経路や避難場所については、市町村と協力し、避難訓練や住民説明会等を利用して県民への周知を進めていくとともに、ハザードマップ[※]作成や避難計画にも反映していきます。また、本計画では効果が早期に発現されるよう優先順位を考慮しながら対策を順次実施し、短期的に97集落、中期的には残り48集落の孤立の解消に向けて取り組んでいきます。

※ハザードマップ：自然災害による被害範囲を予測し、避難経路や避難場所の情報を地図化したもの。

《防災公共イメージ図》



詳しくは、県庁HP 防災公共
整備企画課 ☎017-734-9644

青森ブランド・プレゼンテーション募集中!

「青森県基本計画 未来を変える挑戦」では、2030年のめざす姿の簡潔な表現として「世界が認める『青森ブランド』～買ってよし、訪れてよし、住んでよしの青森県～」を掲げました。県では、青森ブランドの確立に向けて、青森ブランドの考え方や青森県の価値、青森ブランドが世界に貢献するアイデアなどを県民自身が考え、さまざまな方法で表現していただく「青森ブランド・プレゼンテーション」を募集しています。奮ってご応募ください!

- 募集テーマ：わたしが世界に誇りたい青森
- 応募締切：平成26年10月19日(日)
- 応募資格：◆個人又はグループ ◆青森ブランドフォーラム(11/16青森市内開催)での出席・発表が可能な方
- 賞の授与：大賞30万円 ほか

青森県基本計画
未来を変える挑戦
～強みをとことん、課題をチャンスに～

応募形式や応募方法など、詳しくは、県庁HP

青森ブランド推進委員会事務局
(企画調整課内) ☎017-734-9129